障害を持つ方への意思決定支援報告書 2017.10

～私たちの意思決定支援～

社会福祉法人児童愛護会　青松学園

障害を持つ方への意思決定支援報告書 2017.10

～私たちの意思決定支援～

１．　意思決定支援調査について

２．　意思決定場面、取り組みについて

３．　意思決定支援チェックリスト

１．　意思決定支援調査について

障害を持つ方への意思決定支援については法令等に規定されているとおり、誰もが持っている当然の権利が保障されるためにはなくてはならない支援です。当園でも「利用者の意思支援」を基本理念に掲げ、利用者様一人ひとりに「どのように暮らしていきたいですか」「何が好きですか」「楽しいですか」「うれしいですか」一つひとつを聞き取るような支援を遂行してきました。

平成 29 年 3 月 31 日付け厚生労働省社会・援護局障害福祉部長通知にて「障害福祉サービス等の提供意思決定支援ガイドライン」が作成されました。意思決定支援には意思決定支援責任者によるアセスメント・会議・計画・モニタリングが必要であること、すなわち従来のよりも、もっとたくさんの思い、もっとたくさんの代弁の数々、もっとたくさんの時間をかけて臨むものであると理解できます。

この度、当園が実施している「意思決定支援」そして職員一人ひとりが実践している「意思決定支援」について調査するいい機会ととらえ、下記のとおり調査・報告を行いました。

① 調査目的

当園の現場で行われている意思決定支援について調査し、現時点での支援内容について真摯に受け止める。調査した内容については利用者様、成年後見人、ご家族等に公表することとする。報告書をもとに当園が一体となって、今後の利用者様の意思決定支援の質の向上に向けて取り組むことを目的とする。

② 調査期間

平成 29 年 8 月～10 月

③ 調査内容

・青松学園全職員対象セルフチェックリスト

・青松学園「意思決定支援分析チーム」による調査（現場視認、事業内容確認）

２．　意思決定場面、取り組みについて

献立	・毎月、予定献立表を配布、園内掲示をしている。 ・その日の献立についてはホワイトボードに記入して利用者様が見やすいように努めている。 ・献立の内容について利用者様の意見を聞く機会は現在のところ設けていない。
食事	・食事の提供場所は主に食堂で行っている。体調不良・情緒不安定等の場合には、居室や作業活動場所等での提供を随時行っている。 ・ごはんや汁物などは自らが量を調整できるように、また温かいうちに提供できるように炊飯ジャー・スープジャーから盛り付けできるように工夫している。 ・食を楽しむ会、行事などで普段とは違う形式での食事提供に心がけている。楽しく食べることを大切にとらえ、バイキング形式・模擬店形式・屋外でバーベキュー等、利用者様のお好みに応じた食事ができる取り組みを行っている。
日中活動	・活動班についてはモニタリング等を重ね、やる気や楽しみ、達成感などを考慮した活動ができるように利用者様と一緒に選定している。 ・活動班ごとで外出の機会も含めた活動を取り入れるよう工夫している。全ての班ではないが、活動予定を決める時は利用者様と一緒に外食計画やショッピング計画なども設定している活動班もある。 ・昼休みはグラウンドで野球やその他の球技をして過ごせるように職員を配置している。ただし、その日の勤務状況によっては配置できない場合もある。
入浴	・毎日実施。 ・以前は夕食前 or 夕食後のどちらかを選んでいただく方法を取り入れていたが、夕食前を選択する方が圧倒的に多いため、現在は全員が夕食前に入浴を済ませている。 ・シャンプーやリンス、ボディーソープなど個人ごとに用意していただいている。
居室	・二人部屋制。 ・なるべく、気が合う利用者様同士で設定するように努めている。ただ

	し相性が合わなくなる、トラブルに発展してしまう等があった場合には、居室替えを行うことになるため、複数の利用者様に影響が出てしまうこともある。
買い物	・個人の持ち物・日用品は各々が好きなものを使用していただくことを前提としているため、外出の機会にご自分の日用品を購入する機会を設定している方もいる（ご家族と帰宅中に用意していただく方もいる）。 ・隣接している「キッチンせいしょう」での買い物ができるよう機会の提供に努めている。
外出	・バス外出：観光会社と連携して旅行を企画している（1 回/月）宿泊を伴う旅行は年に 1 回。旅行提案書 4 月～3 月分を事前に全契約者へ配布し申し込みいただいている。 ・グループ外出：前述バス旅行以外の外出。作業班単位もしくは必要に応じた場合等に企画し参加いただいている。利用者様と一緒に企画するもの、スタッフが考慮して企画するもの等。
余暇	・給茶機を 2 機設置している（デイルーム前・第 2 作業棟）。好きな時にお茶（温・冷）、コーヒー（温・冷）、水（温・冷）が飲むことができるように整備している。 ・夕方、デイルームに移動型通信カラオケ機を設置し、楽しんでいただくように努めている。
計画作成	・意思決定支援モニタリングを平成 29 年 9 月より順次、実施している。サービス管理責任者と成年後見人（ご家族）のみで行うことは今後禁じることとし、なるべく多数の代弁、説明できる方への出席を求めるように努めている。利用者ご本人の出席は大前提とする。 言葉だけの話し合いにならないよう、資料をできるだけ多く準備することを大切にとらえる（写真・動画・実物・イラスト等）。 着目点：「何が好きなのか」「お気に入りの物、時間、活動は何か」「何にチャレンジしたいのか」「どのように暮らしたいのか」「計画自体を拒否することはできるか」「多種多様な機会が提供されているか」「選択肢はあるか」「意見を言える人、時間、環境はあるか」「代弁をしてくれる人、チーム、環境が整っているか」等

３．　意思決定支援チェックリスト

全職員に毎週金曜日提出していただいたチェックリスト ① あなたが実際に行なった意思決定支援をできるだけ具体的に記入してください。（意思形成支援、意思表出支援を含む）もしくは出来なかった場面を理由も含めて記入してください。 ② 他の職員が実際に行なった意思決定支援をできるだけ具体的に記入してください。（意思形成支援、意思表出支援を含む）もしくは出来なかった場面を理由も含めて記入してください。

以下、回答内容

【朝・夕】

・髭剃りの時はスタッフがシェーバーで支援していますが、Ｈさんは仕上げを自分でやりたがります。壊したり、怪我をしてもいけないので持たせて良いものかと思いましたが、渡すと慣れた手つきで髭剃りをします。できるだけ本人のやりたい意思を尊重したいと思います。

・帰りの送迎出発前、A さんが自席ではなく、当日欠席の方の座席に座ることがありました。一度座ってみたかったのかと思い、そのまま座っていてもらいました。満足したのか、その後は毎回自分の席に着いています。

・朝の掃除の時、利用者の方達に手伝ってもらうことについてどうなのかと考える時があります。生活の場を清潔にするという点で、できる人は自分で掃除に加わることが当然なのか、スタッフの仕事としてやるべきなのか。
あるスタッフが「手伝わないの？」と利用者に声をかけているのを聞くとそれはどうなのかと思う時もあります。

・スムーズに行動に移せず、様々な場面で声掛けを求めてくる利用者の方に対して。時間に追われたり、他の利用者の方に気を取られたりと理由は色々ありますが、気持ちを推測したりすることをせず、その場を取り繕おうとするだけの声掛け、態度をしてしまうことがあり

ます。

・夕方、デイルームでカラオケをしています。大抵の利用者の方は、周りで盛り上げてあげた方が楽しく歌えるようです。なかには、一緒に歌わないと黙ってしまう方もいます。そのような時は一緒に歌ってあげるなど、楽しく過ごせるように関わりを持って過ごすように心がけています。

・カラオケの時、初めての曲を選曲する方がいました。いつもこれを歌うからと履歴から選曲しがちになってしまいますが、きちんと話しを聞く姿勢が大切と考えさせられました。

・入浴前の準備、衣類を選ぶ時に、どの服がいいのかを聞きながら準備を進めています。

・作業後、居室へ行く時に、何をして過ごすのか「テレビを観ますか？」等、尋ねています。

・体重測定の時に「やらないよ。」と拒む利用者の方がいました。自分のペースがあるようで、その後自分のタイミングで測定をしていました。声掛けの仕方等、本人の思い、特性を理解しながら支援していく大切さを考えさせられました。

【食事】

・ショップでの買い物の時、数種類あるゼリーを見ていたので、どの味が良いのか尋ねるとN さんは指さしをして選びました。自分で選んだものを購入すると笑顔が見られました。

・自分のお茶を飲み干したあと、さらに隣の人のお茶も飲もうとしてしまう方がいます。もう一杯飲みたかったのだと、きちんと意思確認をしなければと考えさせられました。

・昼食のメニュー焼きそばの時。おかわりをしたいと「うーん」と声を出している方がいました。容器を見せ、おかわりがないことを実物で示し、納得してもらいました。

・昼食の時、デザートを指さし、すぐに食べたいと意思表示をする方がいます。「食事を済ませてから、デザートを食べましょう」と話し、最後に食べてもらうことにしました。

・朝食のパンの時。パンを指さし「あっ、あっ」と声を出す方がいました。手元に入れ物（ジャムが数種類入っている）を差し出すと、チョコレートを選び。上手に封を切り塗って食べていました。

・昼食、バイキング形式の時。おかわりをしてどれもよく食べていました。
作業後にショップに行き買い物をすると言うので「いっぱい食べたけど食べれますか？」と聞きました。「大丈夫。」と答えるので、お菓子とジュースを選んで食べました。

・どれもバランスよく食べていただきたいと思うが故に、スタッフのペースで支援を進めてしまうことがあります。（好みの物とそうでない物とを交互で食べてもらう等）

・好き嫌いがはっきりとしている方がいます。無理強いはしていませんが、野菜類等も工夫して食べてもらえるように試行錯誤しています。

・何度もおかわりの要求がある時。2 杯目以降になると、「もうそのくらいにしたら。」とついつい止める声掛け、こちらの思いが出てしまいます。
利用者の方もスタッフによっては、そうでない時もあり、おかわりせずにいる時もあります。その時の状況（メニュー等）なのか、本心はどこにあるのか、悩むところです。

・食事の拒否が見られた利用者の方に対して。本人の意思を確認しながら、時間をおきながら働きかけをしました。食事は調理の方にお願いして、残しておいてもらうようにしました。その後の働きかけにて、「食べる。」と言い、それまでとは気持ちが変わったようです。食堂に行き、遅れて食事をしました。
今回はたまたま食事を食べてくれ、こちらも待つ対応を取りましたが、どこまで意思確認をできるのか、どこの場面で判断をつけたらよいのか（待てるのか）、大いに考えさせられた出来事です。

・朝、夕食は準備が整うまで、待たせてしまうことが多いです。混雑を避けるため、仕方ないと思いつつ、食べたい思いは同じだろうと思います。状況の説明だけは、その都度きちんと行うようにしています。

・朝食はふりかけや焼きのりを用意してあるので、好みの物を選んで食べることができます。時々、納豆も出るのですが、それにプラスαでふりかけを使用する方もいます。本人の好みとして尊重すべきか、悩むところです。私はその時、納豆をかけるのであれば、ふりかけはいらないのではと伝え、止めてしまいました。

・朝食のパンの時。トースターを用意してあるので、好みでトーストして食べることができます。ジャムやマーガリンも好みの物を選ぶことができます。パン食の時はコーヒーか紅茶ですが、砂糖も用意されています。皆さんにとって楽しいメニューのようです。スタッフとしては、どこまでが許容範囲（ジャムは何個まで等）なのか悩まされる場面でもあります。

・外出時は、メニュー表（写真付）があるので、確認をするようにしています。言語がなくても、指さしや表情で読み取ることができます。食を楽しむ会でもそうした工夫がとりやすいです。バイキング形式の食事では、実際に付き添いながら、メニューを選んでもらってい

ます。

・昼食の際、利用者さんの席を決めてあげようと思い、空いてる席を探していると他のスタッフが「○○さん、どこでもいいから好きな所に座って下さい」と声を掛けていました。その利用者さんは自分で席を選び座っていました。

【日中活動】

・活動開始時、作業内容を伝えています。畑での仕事では、水やり、草取り、収穫などあり、利用者さん自身に決めてもらいます。言葉がでない方は、指差しすることで頷いてくれますので、動作や表情をくみ取るようにしています。

・活動開始時の朝礼でボードなど用いトイレ掃除の当番であることを伝えています。
作業中、「トイレ掃除があります。掃除をやりたい人は？」と聞いていました。
例：スタッフ「○○さんと○○さん、掃除に行きますよ」と、言いがちですが、その日の利用者さんが、やりたい・やりたくない　といった気持ちをくみ取り言葉がけをしていました。

・運動プログラムの屋外歩行のため、「外に行きませんか」と、声を掛けると拒否する事があります。そのような時は、少し時間を置いてから、「一緒にお花にお水をあげませんか」と声を掛けると、笑顔で立ち上がり歩き出してくれました。ただ、歩く事よりも、何か目的を持つことにより取り組みやすかったように思いました。

・自ら、コンポを指さしていることに気づき「音楽をかけますか」と聞くと、「あいよ」と返事がありオルゴールの音楽を流すと手を叩いていました。

・作業開始時、スタッフが型抜きと絵筆・絵の具を用意しどちらをやるか聞いていました。取り組みたい作業を選択しやすいように目の前に置くと、型抜きを手に取りスタッフに手渡していました。自分がやりたい事を選ぶ機会を作っていました。

・運動プログラムにある踏み台昇降では、まずスタッフが声掛けし運動の様子をやって見せてから、利用者さんの体を支えながら踏み台昇降を行っています。

・給茶機の音が聞こえると、すぐに立ち上がり自ら給茶機に向かい歩き出します。
お茶を飲みたい意志と捉えて用意します。

・スタッフが、利用者さんに「トイレに行きましょう」と声を掛けていましたが、利用者さんが、答えない　という場面がありました。スタッフは、「時間だから」と言い、強制的に連れて行こうとすると、「うううー」と言って反抗し動こうとはしませんでした。立ち上がってもトイレにはいかず違う場所に歩き出してしまいます。他のスタッフが、時間を置いて声掛け誘導するとスムーズに移動することができました。

・利用者さんが、活動中に「うんこ、うんこ」と何度もトイレに行きます。何度もトイレに行くので「でるのですか」とトイレに行くのを止めようとしてしまいました。

・活動開始時、利用者さんに「今日は何やりますか」と予定を確認しました。

・ショップに行かない利用者さんに「何がいいですか」と聞きました。

・活動中、「お茶、お茶飲む」と繰り返し言っている利用者さんがいました。他の利用者さんは、作業に取り組んでいたので「向こうに行って飲みましょう」と場所を変えていました。

・利用者さんは、スケジュールを立ててから取り組みます。自分のペースで行っていましたが、糸巻きの糸を触っているうちに作業時間が終了してしまいました。
昼食の時間になったこと、午後から続きを行うことを伝え館内への移動を促すが動いてくれません。再度、促すと、「ううん」「いかない」と、だんだん声が大きくなります。「どうしたのか」尋ねると、「これやる」と糸を指さし作業をやりたいことを伝えてきました。
糸１本仕上げることでスムーズに移動することができました。

・さをり織りを行っている利用者さんですが、縦糸の整経を待つ間、他の作業内容を考えます。自分から言葉で伝えることはないため、スタッフが作業内容を伝えます。行事で使用することを伝えながら材料、用具を手渡すと、手を横に振り取り組みはありませんでした。
他利用者さんが取り組んでいた作業（チューリップの綿づめ）を見ていたので、説明しながら布地を手渡すと、手に取りその後自ら綿に手を伸ばし取り組むことができました。

・一人の利用者さんが、スタッフと散歩に行くのを見て、騒ぎ出す利用者さんがいました。それを静めるために気をそらすよう、ごまかす言葉をかけてはぐらかしてしまいました。直ぐに、追いかけ連れていけばよかったとも思いますが、他の利用者さんを置いては行けず、他スタッフが来るまではと思い気をそらすようにしてしまいました。

・ＥＣＯ班の○○さんは、７名の利用者さんの中で唯一リサイクル品を分別でき、回収作業も率先してされる方ですが、数か月前回収先で排尿をしてしまったため、回収から外されました。それから、毎週月・水曜日の回収日は朝から様子がおかしくなる様に思われ、毎回○○さんの様子を見ています。作業の仕度が遅かったり分別中に出る汚水を通路に流し足りガラス瓶などを投げ入れ破損したりとの行動が見られます。今の状況下として、その事をきつく注意するのではなく黙ってスタッフが処理をしています。○○さんのジレンマか不満なのか、見守っていきたいと思います。

・今日の午前中の作業は、和陶芸ではなく外活動でゴミ捨て場の掃除をします。と作業内容を伝えました。ある利用者さんは、「こっちやる。」と、言いお皿を指さししました。もう一度、利用者さんと話をしてやすり掛けだと一人で部屋に残ってしまうことを伝えました。利用者さんは、外を指さし「行く」と言い、外の作業にみんなと行くことができました。

・機能訓練班では、作業内容として個々に応じた運動や創作活動、音楽、ＤＶＤ鑑賞などを行っています。利用者さんが自らＤＶＤデッキを指さしてスタッフに声を掛けたり、直接ＤＶＤを手渡したりする姿が見られます。その時に、「ＤＶＤを点けますか」と聞くと、「あいよーあいよー」と返答され、ＤＶＤを流すと手を叩いて観ています。いつもＤＶＤを流すのではなく、希望があった時に点けています。ＤＶＤを見た後に、貼り絵等の作業に誘うと進んで取り組む姿が見られています。ＤＶＤに関しては、他の利用者さんも観たいと話され機能班に来ることがあるので、できるだけその時に対応するようにしています。でも、それぞれの班での作業中に「ＤＶＤを観たい」と来られる利用者さんが作業を行っているのに一人だけ観せるのは難しい時もあるので「お昼ごはんを食べた後、一緒に観ましょう。」と声を掛けています。

・手工芸班の利用者さんが貼り絵製作を集中し取り組んでいる姿が見られる事から、担当のスタッフがいつでも作業を行えるよう準備をしています。作業する物が用意されていないと衣類を破ってしまう事もあり常に気を配っています。作業の準備をしてあっても衣類を破り続ける時もありスタッフが試行錯誤してくれています。

・一日の作業の流れを伝えるときに利用者さんが「ガラスやるよ」と、言いながらガラス工芸の準備を始めましたが、室内での過ごし方が難しい利用者さんや畑の水やりもあり、午前の作業は外作業です。と伝えてしまいました。利用者さんの意思？は、くみ取れないまま作業に入ってしまいました。

・○○班で、いつも遅れてくる利用者さん。なかなか作業着に着替えようとしない状況。その場のスタッフの声掛けが、早くしなさいでもなく、作業に行きますよでもなく、「作業したくない日もあるのだから、どうしてもしたくないなら、今日はしなくてもいいんですよ。」と本人の気持ちを探っている印象でした。その後、利用者さんは、着替えをし遅れて作業を始めました。

・利用者さん一人ひとりに声かけしスキンシップをしていると思いました。

・活動開始時、自ら色鉛筆の準備をし色塗りをしています。途中、居眠りをしたり、周囲の様子を見ていたりするので他の作業を促すと首を振り、色鉛筆を持ちまた色を塗っていました。

・予定実績確認表で、出欠をとっていた時、一人の利用者さんは後から来園する予定でしたので、来園してから出欠の○印をつけましょう。と話をしていると、他の利用者が「（出席）に○をつけて」と騒ぎ出しました。利用者さんが来てからつけます。と言っても納得しなかったので○をつけると安心したようで落ち着きました。

・作業中に、「お茶、お茶、飲む」と、伝えてくる利用者さんがいました。スタッフが一緒に給茶機に向かいお茶を入れ飲みました。

・利用者さんに「ショップへ飲み物やおやつを見に行きませんか」と声を掛けると、自ら希望して行かれる方がいます。その方々の気持ちをくんで一緒にショップに行き好きな物を選んで頂いて購入します。そこで、普段選ばないような飲物を選んだ方がいました。「これがいいのですか。」訊くと「うん」と返答されたので購入しました。でも一口飲んでみて口に合わなかったようで横を向いてしまった利用者さんがいました。「今度は、違うものを選

びましょう。」と伝えると、「うん」と返答されこちらで用意した飲み物を飲みました。
ご本人が「欲しい」と選んだものだったので一度確認した後購入しました。他のスタッフは、「飲まないから別の方がいいよ」とも言ってはいました。私は、「こういう飲み物もあります。」と知って頂きたくて購入しましたが、意志決定支援に添っているのか迷うことがあります。

・活動班で商品を納品に行った際、各店舗で「下車して納品に参加するか」をその都度、聞くようにしています。

・ヤックスに納品に行く際、普段は聞いても行かない方が手を挙げて自分から車に乗り込んでいる姿を見て驚きました。「決めつけ」はしないよう気をつけたいと思います。

・運動プログラムを実施する際、頭や顔を触り椅子から立とうとしませんでした。スタッフは、無理に立たせようとはせず、暫く様子を見ていましたが、「今日は、気がのらないようなのでやめておきましょう。」と声を掛けてその日は、運動は実施しませんでした。

【行事・外出】
・宿泊旅行へ行ったとき、ご家族へお土産を買った利用者さんが、数日後まだ家に帰宅する前に「お土産食べたい」と話がありました。ここ最近帰宅していなかった利用者さんだったため、「お土産を家に持って帰ってご家族で食べたほうが良いのでは？」と提案しました。しかし利用者さんが怒り始めたため、菓子折りを目の前に持っていくこととしました。中身を一つ食べることで納得された様子でした。また「一緒に食べないよ」と話していました。帰りたいという気持ちなのか、家族と一緒には食べない、食べていないという気持ちなのか、色々と考えさせられる出来事でした。

・外出先でグループ行動をしているため（例：利用者さん４名、スタッフ２名）、トイレの訴えが一人からあがった場合、他の利用者さんにも勧めてしまうことがあった。意思を訪ねる前にトイレ誘導をしてしまいました。

・グループ外出の際、途中でお弁当を購入して公園で食べようという計画でしたが、車内ですでに興奮している利用者さんがいました。「お弁当いりません、早く帰りましょう。」と話してくるため、私は“せっかくの外出だし、その利用者さんの好きそうなものを買っておこう”と思い他のスタッフと相談して、ミニうどんを買いました。ただし公園についても車内からは「行きません」と拒み降りませんでした。車内でミニうどんを食べていました。利用者さん本人にとって楽しい外出となったか、疑問に残る出来事でした。

・「あー」「うー」などの言葉を発する利用者さんと外出した際、好きな飲み物がわからず、私は２種類のドリンクを購入してみました。コーヒーを手に取ったため、選んでいただいたものと思っていましたが、飲まずに自分から遠い席に置いてしまいました。今はのどが渇いていないものと思っていましたが、他のスタッフに「こっちの方がいいのかな？」と勧められるとすぐにキャップを外し飲み始めました。幅広い視点が大切だなと感じました。

・行事での食事、模擬店形式でした。何度も「うどん食べる。」という利用者さんに、「他にもおいしいものがあるから見に行こう」と話し、模擬店を見てまわることを勧めました。少し目先が変わったようで、各店舗を見て楽しそうな表情も感じ取れました。その後、うどんばかりでなく、かき氷なども食べていました。

・園内行事「納涼会」の際、ある利用者さんが私のもとへ来てくれました。当日の朝食は拒否して食べていないとの申し送りを受けていたため「たくさん食べようね」と声をかけると表情が明るくなり頷いてくれました。食堂の各模擬店を一通り見て食事をしました。途中で

私の休憩時間となったため「ちょっと行ってくるね」と伝えると、腕をつかまれ険しい表情になるため、「わかりました。行かないよ。」と再度伝えるとニコニコしフライドポテトを私の口に入れてくるなど機嫌が良くなったようでした。その後、様子をうかがいながら後で休憩を取りました。

・バス外出の際、カラオケをして過ごすことが多いのですが、利用者さんに歌いたい曲をうかがいながら選曲するように心がけています。他の利用者さんが歌った歌を再度リクエストしてくる方もいますが、同じ曲でも選曲するようにしています。

・ディズニーランドなどのアトラクションについて、同じグループでも意見が分かれることがあります。グループを分割してアトラクションに乗りますが、待ち時間を考えたうえで断ってしまうものもあるため、その利用者さんには年に一度程度の機会なので申し訳ないなと感じることがあります。

・バス外出でグループ行動になり、自由昼食の場面ではグループ内の皆さんの意見をなるべく取り入れてあげようと思うのですが、言葉が話せる利用者さんの意見を重視してしまうこともあるため、反省しています。食事以外でも楽しみの部分があると思うので皆さんが、今日は楽しかったと思える場面を一つでも多く作ってあげようと思っています。

・グループ外出について作業班によっては、企画の段階から利用者さんが参加しています。「どこで外食するか」がメインテーマとなっていますが、とても大切なことだと感じます。ひとりひとりの意見を順番に取り入れることで、皆さんが積極的に「意見を言う」、そして「取り入れてもらっている」満足感のようなものが感じ取れます。「今日は○○君が決めた丸亀正麺～。」などと楽しそうに話されています。

・バス外出について。「行きたいけど、○○ちゃん（ご家族）がダメだって。」と残念そうな利用者さんがいます。ご家族のお気持ちや状況もあるのでしょうが、利用者さんのお気持ちを考えると…。

・2 台の車を使用し、グループ外出する際、乗車する車両を選んで頂いていますが、全ての利用者さんが理解できる伝え方ができていなかったと思います。

・グループ外出で公園で運動する企画を立てました。利用者さんに公園でやりたい事を絵を使い、選んで頂きましたが、選択肢の中に一人ひとりがやりたいことがあったかどうかわかりませんでした。選択肢をもっと時間を掛け、考える必要があったと思いました。

【その他】

・通所利用者の○○さんの衣類が汚れていた為、本人に聞かず、自分の判断でハイターにつけてしまいました。結果、その利用者さんは一人で洗濯場に衣類を探しに行ってしまいました。その後、本人にどうしたいのか確認すると「袋に入れて持ち帰りたい」と話があり、希望通り袋に入れて渡すとバッグにしまっていました。

・活動前に靴下が片方見つからず、探している方がいました。「探すのを手伝いましょうか？」と声を掛けましたが、返答はありませんでした。一緒に探し、見つかると安心した様子でした。

・活動前に麦茶を飲んでいた利用者さんがおかわりをしようとした際、「作業の時間だから行きますよ」と声を掛け、コップを片付けてしまいました。もう一杯飲みたいという意思をくみ取ってあげられませんでした。

・ある利用者さんは歯磨きにとても時間が掛かりますが、急がせることはせず、本人が納得して歯ブラシとコップを片付けるのを待つようにしています。

・昼食後、給茶機でコーヒーを入れ、飲んでいる方がいます。スタッフが、作業室で飲むか、園内のソファーで飲むか聞くとソファーを指さし、座って飲み始めました。

・日中活動を終え、館内に入ろうとした際、通所の利用者さんが自販機で飲み物を買いたいと言っていました。他のスタッフから「もう時間がないから今日は諦めましょう」と声を掛けられており、私も「バスで皆が待っているから行きましょう」と声を掛けましたが、その場から動こうとしませんでした。そのまま様子を見ていると気持ちが切り替わったのか走ってバスに乗り込んでいました。

・第二作業棟で活動している○○さんはトイレ前のソファーの決まった場所に座ることが多く、その都度、自分の席に座りましょうと声を掛けますが、動きません。スタッフ２名で対応するとスムーズに移動できることもありますが、強い拒否がある時は、無理せずそのまま様子を見ています。

・移動の際に色々な所を触りながら歩く方がいます。触るのを止めたり、せかしたりせず、一緒に歩くようにしています。

・朝、風邪気味と連絡を受けた利用者さんがいました。午前中の作業も普段通り行い、昼食も完食していましたが、その後の検温で 38.9℃も熱が出ていました。自ら表現できない利用者さんの変化に気づいてあげられませんでした。

・ヤックスの納品に行く際に、朝は「行くよ」と言っていましたが、いざ行こうとすると「行

かない」拒否が見られました。時間を置きながら何度か聞き返すと「午後に行く」と言う返答がありました。

・短期入所を利用する○○さんが送迎バスから降りる際に泊まりの荷物は私が部屋に持っていきましょうか？それとも自分で持っていきますか？と聞くと「自分で持っていく」と言い、自分で部屋に持っていきました。

・入浴の為、声を掛けると「イヤ」と言い、拒否がありました。他のスタッフが「入りたくないならいいですよ」と声を掛け、無理に連れていくことはありませんでした。

・トイレの介助をした際、いつもより長く便座に座っていた為、「終わりにしましょう」と声を掛けましたが、立ってくれませんでした。もう一度声を掛けると手を払われました。しばらく様子を見ているときちんと排泄がありました。意思をくみ取り、急がせる事なく、待ってあげれば良かったと思いました。

・昼休み、第二作業棟にてＤＶＤを指さしている方がいました。その様子に気づいたスタッフが「どれを見ましょうか？」と数枚のＤＶＤを本人の前に並べていました。自分で見たいものを指さし、選んで見ることができていました。

・○○さんが活動班のコンテナ内に大きな蜘蛛がいる事に気づき、「くも、くも」と騒ぎ始めました。蜘蛛を外に出すと安心した様子でした。その後、私が他の活動班にいる時も蜘蛛を見つけると呼びにきます。

・「利用者の意思」を頭に入れていたものの、今までの積み重ね、経験で勝手に決めつけている事や相手に確認はするものの、先回り、先読みし、都合のいいように解釈しながら支援

していたのではと思い、今後気をつけていこうと思います。

・第二作業棟にて○○さんに内科検診の声掛けをしましたが、応えてくれず、カバンを持ち、グラウンドに歩いていってしまいました。「どうしたんですか？」と聞きながら一緒に座ってみましたが、肩を押されたので、一人でいたいのかと思い、他のスタッフに引き継ぎながら様子を見るようにしました。

・利用者さんの足に湿疹のようなものが出来ていたので、他の職員、看護師に状態を見てもらおうと園内に入ることを話すと大きな声を出し、興奮状態になってしまいました。安心できるような声掛けをし、見せに行くのではなく、見に来てもらうよう対応すれば良かったかもしれないと思いました。

・利用者さんが雨が降っている中、外に出ようとすることがありました。雨が降っていた為、外に出ないよう声を掛けていましたが、走って外に出てしまいました。外に居たい気持ちをくみ取り、一緒に外に出て本人に合わせて行動してみました。

・いつも献立表のホワイトボードを指さし、献立を読んでいる方がいます。指をさしながらの為、書いてある献立が消えてしまい、他の利用者さんから「消さないで下さい」と言われ、トラブルにつながることがあります。その際に「読んでいいんだよ、読むのが好きだからね、でも少し離れて読もうね、読みやすいよ」と声を掛けているスタッフがいて、読みたい、指を指したい気持ちを否定せずにトラブル回避に導いていました。

・ショップで買い物をする際、ジュースを手に持ち、デザートが並べれているケースを見ている利用者さんがいました。「買いますか？」と声を掛けるとうなずき、ケースの中を指さし、自分で選んで買うことができました。

・ショップで買い物をしている際、一人の利用者さんが普段は飲まないような飲み物を手にとりました。「これがいいのですか？」と聞くと「うん」と返事があった為、購入しましたが、口に合わなかったようで１口飲んで残してしまいました。

報告書作成日

平成２９年１０月２０日

社会福祉法人児童愛護会

青　松　学　園